

# 日本糖尿病協会 表彰式

糖尿病医療や日本糖尿病協会の行う公益活動に著しく貢献した9人に、日本糖尿病協会各賞が授与されました。

受賞者ごとに、正面スクリーンに大きなインタビュー映像が流れ、暗転の会場からスポットライトを浴びた受賞者が登壇。日本糖尿病協会理事長・清野裕から記念の盾が贈られ、本学術集会会長・中村慶子も熱い握手で功績を賞賛しました。



## アレテウス賞

康生会武田病院 **武田純**



Aretaheus Award for Outstanding Scientific & Health Care Achievement

## ウィリアム・カレン賞

医療法人小内医院 **小内裕**



William Cullen Award for Achievement in Clinical Diabetes Research

## パラメデス賞

福岡県糖尿病協会 **中園徳斗士**



Palamedes Award for Leadership and Service in Diabetes

## 立川俱子賞

栃木県栄養士会 **桑まり子**



Tomoko Tachikawa Award

## 日本糖尿病協会療養指導士賞 看護師

千葉大学医学部附属病院 **大倉瑞代**



JADEC Award for Excellent Diabetes Educator in Nurse

## 日本糖尿病協会療養指導士賞 薬剤師

薬局恵比寿ファーマシー **佐竹正子**



JADEC Award for Excellent Diabetes Educator in Pharmacist

## 日本糖尿病協会療養指導士賞 臨床検査技師

なかじま糖尿病内科 **山下己紀子**



JADEC Award for Excellent Diabetes Educator in Medical technologist

## 日本糖尿病協会療養指導士賞 管理栄養士

医療法人上ノ町・加治屋クリニック **中尾矢央子**



JADEC Award for Excellent Diabetes Educator in Dietitian

## 日本糖尿病協会療養指導士賞 理学療法士

東京医科大学八王子医療センター **天川淑宏**



JADEC Award for Excellent Diabetes Educator in Physical therapist

### ▶アレテウス賞

国内外における糖尿病医療への学術的貢献が顕著であり、かつ教育や患者会活動を通じた糖尿病治療や療養指導への貢献が著しい医療従事者へ贈られる

### ▶ウィリアム・カレン賞

原則50歳未満の比較的若手で、糖尿病対策の公益活動を積極的に推進している医療従事者を表彰

### ▶パラメデス賞

糖尿病対策の公益活動を積極的に推進し、かつ教育や患者会活動を通じて社会への貢献が著しい患者さんを表彰

### ▶立川俱子賞

糖尿病の啓発、療養支援、国際交流などになやかな力を発揮する女性を表彰

### ▶日本糖尿病協会療養指導士賞

糖尿病医療の柱となる患者教育を推進し、日本の糖尿病療養指導の発展に著明な貢献があるコメディカルスタッフを職種ごとに顕彰

# 日本糖尿病協会賞 受賞講演



座長  
公益社団法人日本糖尿病協会 理事長(関西電力病院)  
清野裕

ウィリアム・カレン賞

## William Cullen Award for Achievement in Clinical Diabetes Research

### チームで歩んだ糖尿病診療 ～迷わず行けよ、行けばわかるさ～

医療法人小内医院 小内裕

私は山形県で生まれ、埼玉医科大学を卒業しました。研修している中で、亡くなる患者さんや体が不自由になる患者さんの多くは糖尿病を併発していることに気づき、糖尿病診療の道に進みました。

糖尿病の治療は薬物療法、食事療法、運動療法が基本ですが、そこに療養支援がないと成り立ちません。患者さんは糖尿病に対する多種多様な気持ちや社会背景を持っており、それらを含めて誠実に向き合うことが大切です。

中部ろうさい病院(愛知県)では糖尿病サポートチーム設立のお手伝いをしました。糖尿病教室や料理実習、糖尿病バイキング、運動教室を行い、世界糖尿病デーには血糖値の測定、市民公開講座も開催しました。糖尿病カンパセッションマップ™も行い、血糖値やHbA1c値の有意な改善を目の当たりにしました。

次の勤務先の織本病院(埼玉県)は透析を主に行う病院

で、ここでも糖尿病委員会・サポートチームを設立しました。スタッフの院内勉強会を毎月行い、糖尿病連携手帳の導入や糖尿病外来問診票の作成、糖尿病指導カードシステムも活用し、栄養相談を積極的に行うようにしました。

現在は山形県で診療にあたっています。山形県では2018年4月に糖尿病療養指導士認定委員会が発足し、2019年2月に最初の認定試験が行われます。

糖尿病療養支援は楽しくやりたいという気持ちから、医療スタッフと一緒に演奏・合唱つきの講演会を開き、椅子を使った糖尿病体操も創作しました。糖尿病診療をエンターテイメント化させ、県民の健康増進と医の連携を向上させたいと思っています。



#### ●ウィリアム・カレン賞

原則50歳未満の比較的若手で、糖尿病対策の公益活動を積極的に推進している医療従事者へ贈られる賞

#### ●パラメデス賞

糖尿病対策の公益活動を積極的に推進し、かつ教育や患者会活動を通じて社会への貢献が著しい患者さんへ贈られる賞

#### ●アレテウス賞

国内外における糖尿病医療への学術的貢献が顕著であり、かつ教育や患者会活動を通じた糖尿病治療や療養指導への貢献が著しい医療従事者へ贈られる賞

パラメデス賞

## Palamedes Award for Leadership and Service in Diabetes

### 糖尿病協会の活動を通して

福岡県糖尿病協会 中園徳斗士

20年前に糖尿病を発症し、日本糖尿病協会(日糖協)での活動歴は12年になります。日糖協活動に関わるきっかけの1つは、妹が妊娠糖尿病合併症で死亡したことです。糖尿病治療レベルの低い地域であったことを知り、治療レベルの向上と地域間格差を是正する必要性を感じました。また実際に日糖協の活動に参加して、企画内容や地域糖尿病療養指導士(CDEL)をはじめ医療関係者のボランティア精神に感動したこと、さらに主治医の布井清秀先生からの誘いもあり、先生の糖尿病治療や協会活動の考え方に感銘したことも、活動のきっかけになりました。

福岡県糖尿病協会は、糖尿病を多くの県民に知ってもらい、地域の治療レベルアップにつなげるため、県内4ブロックに分けて事業を展開しています。医師部会(登録医・療



養指導医・専門医部会)を設置し開催している実地医家のための糖尿病セミナーをはじめ、1999年から毎年開催している糖尿病および合併症予防のための出前講演会、世界糖尿病デーブルーライトアップイベントなどを行っています。ブロックでは、友の会合同の宿泊研修を行うところもあります。糖尿病友の会では、書き込み型のカレンダーを作成するところもあり、主治医とのやりとりや日々の療養行動の記録、家族との情報共有に活用されています。

今後は日糖協の医療者教育の成果を活かし、糖尿病教室をモデル化して、小回りがきく教室を開催し、糖尿病について一緒に考えて行動してくれる仲間を増やしたいと思っています。

アレテウス賞

## Aretaeus Award for Outstanding Scientific & Health Care Achievement

### 糖尿病の療養指導の質向上を目指して

康生会武田病院 武田純

日本糖尿病協会(日糖協)の活動は、「調査研究」、「療養支援」、「普及啓発」、「国際交流」の4つが柱です。これらに即して私のこれまでの活動をご紹介します。

まず「調査研究」は、糖尿病と遺伝子に関する研究を行ってきました。この内容については午後の教育講演でお話します。「療養支援」においては、医療機関と患者・家族が地域や職域を超えて有機的につながっていることが大事です。岐阜県では、医師会、糖尿病学会、日糖協、さらに大学、行政、歯科

医師会、薬剤師、栄養士会などの協力で、「岐阜県糖尿病対策推進協議会」を立ち上げました。その事業の1つとして予備群対策に取り組んでいます。その一環として、ブドウ糖負荷試験の実施と指導要綱を記載したマニュアルを作成し、県内の医師会員に配布して推進しました。

また、医療連携体制を充実させるため、日糖協の岐阜県支部のホームページで登録医・療養指導医を公開し、診療連携に役立っています。糖尿病地域連携バスや連携手帳を活用し、専門医と登録医との間の循環型連携を進めています。また、岐阜県CDEネットワークを立ち上げ、糖尿病に関係する全職種に参画を促し、「CDE岐阜」の認定を行ってきました。

「普及啓発」としては、岐阜城などのブルーライトアップ、健康食の普及のために県内のホテルや旅館で特別メニューの提供などを行っています。「国際交流」では、国際ライオンズクラブとの連携活動を行っています。

岐阜県では、地域事情を考えた活動に従事してきましたが、今年度から京都の病院勤務となりましたので、これからは新たに都市型の療養指導についても考えていきたいと思っています。

